



ご入学おめでとう

歓迎の言葉(抜粋)



生徒会長

3年A組

松島 歩乃里さん

学校生活では、さまざまなことに悩んだり、つらい思いをしたりするかもしれません。ここで私の好きな言葉を紹介いたします。『いい加減が良い加減』という言葉です。「いい加減」とは、マイナスの言葉として受け止められがちですが、「ちょうどいい・適度な加減」という意味もあります。自分にプレッシャーをかけすぎず、できる範囲で頑張ればきっと大丈夫です。緊張している時などにも、心の中で唱えれば勇気が湧いてくるはずですよ。たとえ、勉強から抜け出したい時があったとしても、自分自身にプレッシャーをかけすぎず、メリハリをつけて取り組めばその努力は必ず良い結果につながります。友人関係に悩んだ時も、自分を責めすぎず友人と真剣に向き合えば、一生の友を得ることができるとも思いません。

高校での三年間はあっという間です。有意義な学校生活を送るためにも目標や夢を持ち、その実現のためにも頑張ることがとても大切です。もし、心配なことや困ったことがあれば先生方や私たちにご相談ください。私たちは皆さまの新しい高校生活をしっかりサポートしていきます。

これからの海星で沢山のことを学び、多くの友を作り、かけがえのない三年間にしてください。今日出会えた仲間は偶然ではなくマリア様のお導きによって出会えた仲間です。

どんなことにも感謝の心を持ち『地の塩世の光』として、他者のために行動できる人となるよう、共に歩んでまいりましょう。

学年主任より

神様のお導きによって、新入生76名とここにご参列いただいた保護者の皆様と、この海星で出会うことができましたこと、心から感謝をしております。高校3年間という、心も体も成長する大切な時期をともに過ごし、ともに学び、ともに歩むことの重みと責任を感じております、と同時に、カトリック学校で学ぶ多くのことがこれから先、進む人生の糧となりますように、また3年後の進路実現に向けて教職員一同、全力でサポートをさせていただきます。そして、新入生が「海星の3年間は最高だった」と海星をあとにして夢へと羽ばたいていくことを願っています。最後になりますが、今日という日に感謝をあらわし、在校生を含め、新入生が恵みに満ちた高校生活を送ることができるとも思いますが、お祈りし、挨拶とさせていただきます。これからどうぞよろしくお祈りいたします。



新入生研修

1学年は4月9日～11日に校内研修を実施しました。海星のルーツについて学び、広大なキャンパスをまわるオリエンテーリングでは新しい友とともに楽しく活動することができました。2日目は海星の生徒としての心得を学び、海星の制服の由来や美しい着用について学びました。また班ごとに海星のイメージを一つの絵にして、海星の良いところを発表しました。研修の最後はキャンドルサービスでした。生徒一人一人が担任の先生からキャンドルを受けられ、海星ファミリーの一員となりました。「あなたがたは地の塩である。あなたがたは世の光である」という教育目標を皆が理解し、海星での高校生活の歩みが始まりました。



◇海星のキャンパスでは、110本の桜の葉が輝くばかりに美しく、背振の山並みの緑とあいまって、豊かな自然あふれる情景が広がっています。◇4月は、まず、入学式で新入生を迎える生徒会長の心こもった歓迎メッセージに、保護者の皆さまも「この落ち着いた姿が海星の高校生なのだ…」と感心されたことでしょう。海星の3年間の高校生活では、きめ細かい宗教教育によって、生徒はとくに内面が豊かになります。3年後のお嬢様の姿、ものの考え方や周囲の人への思いやりが深まっていることにご期待ください。◇それぞれの生徒が、新たな気持ちで、現在、授業や部活動、学校行事に取り組んでおりますが、まず、4月26日、お天気にも恵まれ、各学年に分かれて、「平和の旅」・「ルーツの旅」に出かけることができましたことをご報告いたします。本校では、年度初めに行われるこれらの旅を、クラス・学年での親睦を図るいわゆる遠足としてのみならず、研修と位置付けています。1学年は世界文化遺産となっている長崎・外海地区、出津教会で潜伏キリシタンの施設と生活をたどりま



浦上天主堂資料館で記帳する生徒たち

ならではの貴重な体験

ができました。3学年は、福岡海星女子学院高等学校を創立したマリアの宣教者フランシスコ修道会のシスター方がフランスから訪れて、貧しい人、病に苦しむ人を世話した熊本修道院と、慈恵病院「こうのとりのゆりかご」を訪れて、命の大切さ、愛と奉仕の精神について学びました。昨年度、創立60周年記念講演で、ゆりかご創設に深く関わられた田尻由貴子先生の心にしみるご講話を思い出しながら研修できました。◇そして5月10日に開催した体育会は、おかげさまで、成功の内に終了いたしました。生徒会が中心となって準備し、各ブロックのダイナミックな演舞とダンスも、完成度の高いものでした。生徒にとって、互いに協力し合って作り上げた体育会は、3年間の高校生活で最も大きな思い出となったに違いありません。キッチンカー3台によるお食事でも楽しんでいただけたことでしょう。平日にも関わらず多数ご来校下さり、多くのご声援をいただいて本当にありがとうございました。◇28日から始まる中間考査でも、生徒たちが、学習で持てる力を大いに発揮してくれることを期待します。◇5月は聖母月、今月のテーマは、「知るべきこと」です。ルカによる福音書第14章31節「さあ、立て、ここから出かけよう。」という聖書のみ言葉を学び、聖母マリアのように、祈り、行動できる女性になりましょう。なお、生徒が毎月、学んでいる聖書のみ言葉や講堂朝礼での宗教講話については、ホームページや海星タイムズで紹介していますので、保護者の皆様も、ぜひ目を通していただきたいと思います。また、6月8日は、保護者後援会総会で、本校理事・元校長・マリアの宣教者フランシスコ修道会のシスター入江純子による「海星のルーツとカトリック教育について」と題した特別講演会を企画いたしました。万障お繰り合わせの上、どうぞご来校くださり、本校のカトリック教育について、理解を深めていただきますようご案内いたします。

平和の旅（1年）

4月26日に平和の旅に長崎の外海へ行きました。今回の旅では教会を巡り、潜伏キリシタンについて、信仰の尊さについて学ぶことが大きな目的でした。

外海の海風の中、みんなでシートを広げ、楽しく会話をしながらお弁当をいただきました。とても楽しい時間でした。

教会ではシスターからフランスからこの地域にやってこられたド・ロ神父様が私財を投じ教会を建設しただけではなく、貧しいこの地域の人々のために全てを捧げ、この地で生涯を終えたことを伺いました。神父様によってこの地域の人々の信仰が守られたこと、人々の信仰の深さを学ぶことができました。1学年全員で心を込めてお祈りをおこない、「いつくしみ深き」を歌いました。1学年全体の交流を深めることができたとともに、カトリック学校の一員として学び多く、有意義な1日となりました。



ルーツの旅（3年）

3学年はルーツの旅で熊本を訪れました。はじめに、熊本修道院を訪れ、Sr.朝倉より「待労院資料館」で日本に来た5人のシスターの活動、修道会やハンセン病患者の救済活動の歴史を学びました。次に慈恵病院へ行き、「このとりのゆりかご」の見学をし、ゆりかごの設置や訪れた家族について話を伺い、「いのち」の大切さについて学びました。最後に、聖堂にてSr.入江とともに「祈りのつどい」を行い、今回の研修を振り返る時間を持ちました。



平和の旅（2年）

2学年は、日本26聖人記念館や浦上天主堂を訪れて信仰と平和の尊さを学び、「愛」について考えました。



【生徒の感想より】

・どんなにづらい迫害を受けても信じる心を忘れた人たちがいたからこそ、今この浦上天主堂があるのだと思いました。

・住んでいた場所が原爆によって一瞬で吹き飛ばされ、何人もの人の命が失われたということを想像して、とてもつらくなりました。

部活動

令和6年4月27・28日・5月3・4日に「令和6年度福岡県高等学校総合体育大会卓球選手権大会中部ブロック予選会」が実施されました。

女子学校対抗の部で3位に入賞しました。シングルの部で6名、ダブルスの部で3組が県大会に出場します。

応援をよろしくお願いします!



Follow me!

福岡海星女子学院高校

Schedule of events

5/15	水	宗教朝礼 (聖母月)
5/15	水	進路適性検査 (1・2年)
5/16	木	尿検査
5/17	金	
5/24	金	歯科検診
5/28 ~ 5/30	火 木	中間考査